



## 「CS教師の資質⑥ 誠実さ」

登戸教会牧師 松原洋満

私たちは、CS教師の資質を7回にわたって学んでいます。今回はその6回目で、「誠実さ」について共に考えてみましょう。

「教会リーダーには何が求められるでしょうか？」というアンケート結果で、必ず上位に挙げられる答えが「誠実さ」です。誠実さは、CS教師にとってなくてはならない大切な資質です。

誠実さは、もともとは神のご性質です。誠実さには、真性さ、正直さ、忠実さの三つの要素が含まれます。（以下、エリクソン「キリスト教神学」参照）

### 1. 真性さ

神の真性さとは、神が偽りやにせものの神ではなく、まことの神であることです（エレミヤ10章10節）。見せ掛けではなく、正真正銘の本物ということです。

CS教師に求められるものも、この真性さです。外見やイメージが強調される世の中において、本物であることを期待されています。具体的には、一貫性があること、ブレない・それない生き方、裏表がないこと、誰に対しても同じ態度を取ることなどが求められます。

### 2. 正直さ

神の正直さとは、真実を語られることを意味します（テトス1章2節、ヨハネ17章17節）。神は真実なお方なので、うそをつくことができません。神が語られることはいつでも信頼できます。

CS教師にも、正直さが求められます。正直でない教師を、誰が信頼してくれるでしょうか。うそをつかないこと、不正をしないことが大切です。

パウロは正直な生き方を具体的に語っています。「恥ずべき隠された事を捨て、悪巧みに歩まず、神のこぼを曲げず、真理を明らかにし、神の御前で自分自身をすべての人の良心に推薦しています」（第2コリント4章2節）。

### 3. 忠実さ

神の忠実さとは、神が真実であられることを実際に証明されることです。神はご自

分のすべての約束を必ず守られます（民数記 23 章: 19 節、第 1 テサロニケ 5 章 24 節）。

忠実さが CS 教師にも求められます。軽々しく約束することは控えるべきでしょうが、約束したことは必ず守るように努力しなければなりません。生徒との約束、他の教師との約束、神との約束、約束の時間、奉仕、課題、期限などを守ることは大切なことです。

また、発言と行動を一致させる努力も大切です。生徒は教師の言葉以上に生き方を見ています。言葉と行いに矛盾があれば、教師の話を真剣に聞いてくれなくなります。私たちは「信じていることが本物であることを、生き方をもって証明していくこと」が求められているのです。

「今、あなたがたは主を恐れ、誠実と真実をもって主に仕えなさい」（ヨシュア 24 章 14 節）。

「正義と誠実を追い求める者は、  
いのちと正義と誉れとを得る」（箴言 21 章 21 節）。

### ディスカッションガイド

①あなたやあなたの CS は、真性さをどの程度現してきたでしょうか？一貫性、裏表がないこと、誰に対しても同じ態度を取るなどに関してはどうでしょうか？

②あなたやあなたの CS は、正直さをどの程度現してきたでしょうか？うそをつかないこと、不正をしないこと、真実を語ることなどに関してはどうでしょうか？

③あなたやあなたの CS は、忠実さをどの程度現してきたでしょうか？約束を守ること、言行一致させることに関してはどうでしょうか？